

契約及び施工条件一覧表

本工事に関する契約及び施工条件は、以下の項目について明示しました。なお、設計図書等の質問は文書でお願いします。後日文書で回答します。

明示した場合は□内に○、しない場合は□内に×
また、明示した場合は（ ）の該当する図書に□

<div>○</div>	1. 契約関係（ <div>特記仕様書</div> ・その他）
<div>○</div>	2. 工程関係（ <div>特記仕様書</div> ・現場説明書・その他）
<div>×</div>	3. 用地関係（特記仕様書・現場説明書・その他）
<div>○</div>	4. 公害対策関係（設計書・ <div>特記仕様書</div> ・その他）
<div>○</div>	5. 安全対策関係（設計書・ <div>特記仕様書</div> ・図面・その他）
<div>×</div>	6. 路盤工関係（特記仕様書・図面・その他）
<div>○</div>	7. 仮設関係（設計書・ <div>特記仕様書</div> ・図面・その他）
<div>○</div>	8. 残土・産業廃棄物関係（設計書・ <div>特記仕様書</div> ・その他）
<div>×</div>	9. 工事支障物件等（特記仕様書・現場説明書・図面・その他）
<div>×</div>	10. 排水工（特記仕様書・図面・その他）
<div>×</div>	11. 作業時間帯（特記仕様書・現場説明書・その他）
<div>×</div>	12. 区画線設置関係（特記仕様書・現場説明書・その他）
<div>○</div>	13. その他

特 記 仕 様 書

(契 約 及 び 施 工 条 件)

番号	明 示 事 項	明 示 内 容 及 び 制 約 条 件 等
1	契 約 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本工事の施工は契約図書及び本特記仕様書によるものとする。 ・ 本工事の施工管理については以下によるものとする。なお、以下の図書において明示なき事項については、監督員と協議すること。 長野県森林土木工事共通仕様書、長野県森林土木工事施工管理基準、治山林道必携「積算・施工編」（林道協会）、林道工事標準仕様書（林野庁）、土木工事施工管理基準の手引（農林水産省）なお、適用する基準は最新のものをを使用すること。
2	工 程 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工期は降雨、降雪等で作業が不可能な日及び休日等で作業をしない日を見込み設計書に定めた期日とする。なお休日等には日曜日、祝日、年末年始の他、作業期間内の全土曜日を含んでいる。 ・ 不測の事態等の発生により、これによりがたい場合は、事前に監督員と調整すること。 ・ 本工事は、施工者希望型週休2日工事とし、「駒ヶ根市週休2日工事実施要領」に従い取り組むものとする。また、週休2日工事における経費の補正については長野県の補正方法に準ずるものとする。
3	用 地 関 係	
4	公害対策関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工機械については排出ガス対策型、低騒音・低振動対策型とする。
5	安全対策関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事期間中1ヶ月に1回、半日以上安全教育、研修、訓練を行なうこと。安全訓練を行った場合は、書類として整理し、監督員に提出すること。 ・ 請負者は、工事中における作業者の労働災害防止を図るため、昼休みを除いた午前、午後の各々の中間に15分程度の休憩を実施するものとし、施工計画書に具体的時間を記載するものとする。 ・ 交通規制を行う場合は、交通規制の方法及び看板設置等の計画を事前に監督員と協議すること。また必要に応じて地元関係者と調整すること。
6	路盤工関係	
7	仮 設 関 係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 落石防止のため仮設として大型土嚢を想定している。受注者は施行前に現場照査を行い、仮設内容の変更が必要な場合には、施工計画の段階において、仮設計画を監督員と協議し決定する事。
8	残土・ 産業廃棄物関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 別紙、施工条件明示事項。 再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画書については、原則として ・ COBRISを利用し作成すること。COBRISを利用する場合、計画書の提出は不要とする。実施書は再資源化報告書に添付して提出すること。 ・ 建設発生土・特定建設資材・産業廃棄物は適切に処分すること。
9	工事支障物件等	
10	排 水 工 関 係	
11	作 業 時 間 帯	
12	区画線設置関係	
13	そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分別解体等の計画書を作成し施工計画書とともに提出すること。 ・ 監督員若しくは検査員は、工種毎必要時期に検査・立ち合いを行う。また、本工事内全工種において基準により必要な立ち合いは実施するものとする。実施時期については受注者より監督員に事前に連絡すること。 ・ 工事着手前に設計図書の照査を実施すること。起工測量を実施し起工測量図の提出を行うこと。 ・ 登山救助等の緊急車両通行が必要な場合においては、調整を行うこと。また、山小屋管理等の車両等連絡調整を行うこと。